

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	居住性能評価指針改定小委員会	
主査名	松本 泰尚	
就任年月	2014 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	
委員長名	田辺 新一	
主査名	横山 裕	
設置期間	2014 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	・1991 年に初版, 2004 年に改定版を出版した「建築物の振動に関する居住性能評価指針同解説」の改定案の策定	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無: 無	
	主査: 松本泰尚 (埼玉大学) 幹事: 国松直 (産業技術総合研究所) 委員: 安藤啓 (安藤環境コンサルタント), 石川孝重 (日本女子大学), 志村正幸 (建設環境研究所), 鈴木雅靖 (鹿島建設), 野口憲一 (近代建築保存技術研究室), 濱本卓司 (東京都市大学), 横山裕 (東京工業大学)	
設置 WG (WG 名: 目的)	性能評価法検討 WG: 居住性能評価指針改定のための作業を担当	
2014 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無: 有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス: http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (WG を含む) (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	・居住性能評価指針の改定に関して, その枠組みに関する審議を行うとともに, 改定の根拠となる学術的知見を収集・整理し, 改定案の検討を進めた
委員会活動の問題点 ・課題	特に無し

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>小委員会の設置期間は、運営委員会の設置期間との関係で1年間であったが、その活動は設置目的に沿って進めることができたと考えており、総合評価をAとした。なお、当小委員会及びWGの活動内容は、第33回環境振動シンポジウムで紹介しているので、詳しくはシンポジウム資料を参照いただきたい。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。